

社会 科 学習指導計画案

- ・日時 2013年 6月 13日(木曜日) 第5校時 指導教員

- ・対象 1年1組(生徒数:40名) 実習生

- ・生徒観 真面目な生徒が多く授業態度は良いが、消費者問題については疎いようである。

- ・単元名 消費者問題 ・本時の主題名 ひろがる消費者問題

- ・本時の指導目標 自分たちは消費者であると自覚しているようであるが、消費者問題について理解していないようなのでわかりやすく生徒に伝わるよう、生徒と一緒に授業をしていきたい。

- ・教材・教具 実教出版 最新現代社会 P.144

	指導項目	指導内容	学習活動		指導上の留意点	時間
			教師のはたらきかけ	生徒の学習活動		
導入	出欠確認 ノート返却 前回の復習	出欠確認 前回のノート返却 前回の復習	元気よく、姿勢を正して挨拶させる	きちんと挨拶をする	素早く出欠確認 返却時、生徒のノートを間違えないようにする。 前回の単元、情報化社会の復習、簡潔にまとめる。	5分
展開	ひろがる消費者問題 消費者行政	実際にペットボトルを用いて、企業と消費者の関係性について理解させる。 悪質商法とはなにがあるのか。 ジョン・Fケネディが提唱した4つの権利	発問1「A,Bの水ならどっちを買う?」 発問2「物を買う時に気をつける事は?」 賢い消費者になる為に必要な4つの権利を理解させる。	回答はさまざま 回答:日付、値段、メーカー… 教科書をみながらでもいいので答える。	Aと答えてくれた生徒に「なぜそう思うのか問いかける。」 悪徳商法とは何があるのか、質問を投げかけながら答えを導き出す。	35分
整理	本時の復習 次回予告	本時の授業内容をポイントをふまえて再度確認させる。 次回予告	本時の大事なポイントをおさらい。	話をしっかり聞く	自分が本時で伝えたいことを明確に伝える。 次回の授業にむけて意欲を高めさせる。	5分
評価の観点	(関心・意欲・態度) 授業に意欲的に参加しているか。 (思考・判断・表現) 発問に対してしっかりと考えて答えているか。 (技能) 板書はしっかりと写せているのか。 (知識・理解) 本時の内容について理解しているか。					